

地学と切手



剣山 国 定 公 園

堀内 恵彦

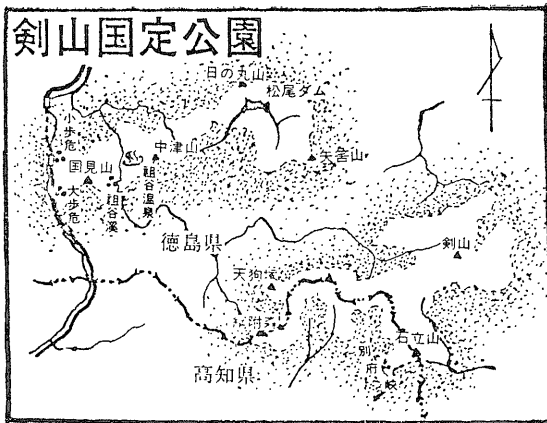
剣山国定公園は 徳島・高知の両県境にまたがり 面積およそ21,197ヘクタールであって 二つの地区に分けられています。いずれの地区も 四国をほぼ東西に吉野川に沿ってはしる中央構造線のすぐ外側 すなわち外帯の長瀬および秩父系の古生層に属する岩石類によって構成されており その北部は主として変成岩が分布しております。

四国山脈東部に位置する 剣山 は 西にある石鎚山に次ぐ高峯で 海拔1,955 m 剣山の名称からすれば急峻な山容を思わせませんが 準平原的な高原を構成する山頂です。

この呼び名は「檀の浦の一戦に武運つたなく敗れた平家の落人が この山上に安德帝の宝剣を納めた」といういい伝えから由来したものといわれ 山麓祖谷の山里はそれら平家の落人の定住地であるといわれております。また一説によれば 剣の山頂はソロモン王が その巨万の富をかくした処ともいわれております。古来から信仰の山としても有名で 7月15日前後の夏祭りは 白装束の信者でにぎわいます。

剣山の南西 石立山の東西 この山稜より発する那賀川および物部川の上流渓谷は 石灰岩をはじめとする古生層中の諸岩が 水による自然の浸蝕で 奇勝奇岩を生じ 高の瀬峡 および 別府峡 と呼ばれ 秋の紅葉のシーズンには錦絵をみるが如き観があります。

吉野川が四国山脈を横断する部分は 約8 km にわたって 数10m から数100m の絶壁となり その真上にはうっそうたる森林 足下の谷底には淵や早瀬が変化をみせて流れ いたる処に奇岩怪石が連らなり みるからに一種壮絶な景観です。古くから越後の親不知 子不知とともに 土佐街道上の難所として有名でした。現在



では 国鉄・国道が通じ通過は簡単です。国鉄大歩危駅から下流(北)に3 km の藤川までの間が 大歩危といわれ それからさらに2 km の下流から白川口までの約1 km の間が 小歩危と呼ばれます。このほんとうのよさは 秋の舟による川下りが最高といわれます。

吉野川の支流で 約50km に及ぶ祖谷川とそのまた支流である松尾川の渓谷を総称して 祖谷溪(いやだに)と称しており 古くから平家の落人やその他合戦の落人の定着地といわれており 住民は一般にコトバはやさしく 礼儀正しく 昔からの年中行事も多く残されているとのことです。溪谷に流出する 祖谷温泉は 全くの露天風呂で 旅館等はなく 通行人が時折り入浴する温泉で 善徳部落の西には対岸へ渡るための蔓(かずら)で作られた 蔓橋があり 長さ45m で 溪谷を渡るのはちょっとしたスリルです。松尾川の上流に作られた 松尾ダム周辺の山々は 新しいリクリエーション地として 多くの人々の憩の場となっております。

この公園地域は 道路が周辺部から比較的整備されておりますが シーズン中(主として7・8月)を除いては 一般に交通の便も悪いので 十分に予備的資料を整えて利用するのがよいでしょう。

国定公園の指定は 昭和39年3月3日 切手は本年2月20日に 剣山および大歩危を画く 20円切手2種が発行されました。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)

ものではない。

**重晶石**

この国では重晶石が近い将来それだけで重要性をもつてくることはないと思われ それよりも多種金属鉱床の間接的な探査上の指示物として重要であろう。

**菱苦土鉱 (マグネサイト)**

当国最大の菱苦土鉱鉱床は Kharidunga 鉱床である。本鉱に対する需要は工業によって異なるので その探査の得失については本鉱消費の量と型とが決定した際の特別な経済的評価に基づいて決定すべきものである。

**建築用原材料**

本件については国内需要に基づいて将来研究すべきものである。

**温泉**

硫黄性の温泉の被圧面下からのもので 温浴治療上の条件を備えるものは 経済的に重要で 精査の要があり特に Pokhara の北や Majangdi Khola 河の下流などの風光明媚で交通便利な地域では 地下の温泉を調査して保養地—サナトリウム—観光地の総合施設を作ることができる。

(筆者は元所員 現バンコクECAFE事務局)

**地学と切手**



**第 23 回 国際地質学会議  
記念切手**

P. Q.

1968年8月19日から27日までチエコスロバキアのプラハで開かれる予定だった 第23回国際地質学会議は8月20日深更の東欧5カ国軍の侵入により 3日目から流会になるという 不幸な学会だった。日本から参加していたのは 渡辺武男(名大) 市川浩一郎(大

阪市大) 立見辰雄(東大) 中村久由(地調)など23名だった。各国の登録人数は チェコ790人 アメリカ440人 ソ連295人 フランス250人 カナダ155人 イギリス135人 イタリア88人 ーポランド81人などである。

切手は8月8日に発行された 5種1組のものである。それぞれ化石または鉱物と それを産した所が画かれている。

30h ポヘミアの上部白亜系から産するアンモナイト *Hypophylloceras bizontatum* (FRITSCH)

60h 北ボヘミア Decin 近くの Bechlejovice の中新統から産した蛙の化石 *Palaeobatrachus granulipes* (GIEBEL)

80h ポヘミアンパラダイスの柱状玄武岩とめのう

1kcs タトラ山中 中新統石灰岩と珪岩から産する *Chlamys gigas* (SCHLOTHEIM)

1kcs 60h 中央ボヘミア オルドビス紀の三葉虫化石 *Selenopeltis buchi buchi* (BARR.)